

一般演題募集要項

1 募集期間

平成29年4月3日（月）午前9時00分から平成29年6月30日（金）正午まで

※締切後の登録は、一切認めません。

2 一般演題募集内容

(1) 応募資格

消防職員を対象とします。

(2) 募集演題

別表の20テーマとします。

(3) 募集演題数

160題（予定）とします。

(4) 発表方法等

パソコンを使用した口演とし、スライドはパワーポイントを使用し10枚程度。

パソコン（Windows [PowerPoint2013]）は会場に用意しますので、発表者は事前にホームページからオンラインによりスライドデータを登録していただきます（スライドデータの登録方法につきましては、別途発表者に連絡します。）。

発表者が何らかの都合でシンポジウム当日に発表できない場合は、共同研究者の1番目に記載されている者が発表するものとします。

※発表するスライドはポスター化して、ポスター展示会場に終日掲示します。

(5) 発表時間

7分以内（時間厳守）とします。

3 応募方法

専用ホームページの「演題登録はこちら」から必要事項を入力し登録してください。

一般演題登録の際は、下記「4 査読・抄録原稿作成要件」の厳守をお願いします。

※要件を満たさないものについては、選考の対象外とします。

なお、一般演題登録は1人1演題までとします。

4 査読・抄録原稿作成要件

(1) 研究報告（原則として過去に発表の例がなく、努めて独創的な研究であること。）

ア 題名

発表内容の主旨を明確に示したものであり、40文字（全角・半角文字）以内とする。

イ 発表者及び共同研究者

発表者の氏名を筆頭に、共同研究者をこれに続き記載すること。共同研究者は8名までとすること。

ウ 目的

研究を行った目的と研究分野の背景を明確に記載すること。

エ 対象と方法

研究の対象と方法について具体的に記載すること。データの統計学的分析を行った場合にはその方法について記載すること。

オ 結果

研究から得られたデータをもとに、どのような結果が得られたのか具体的に記載すること。

カ 考察

結果から得られた成果は何なのか明確に記載すること。

※上記ウ～カで、1, 000文字（全角・半角文字）以内とする。

(2) 症例報告（原則として過去に発表の例のない症例であること。）

ア 題名

発表内容の主旨を明確に示したものであり、40文字（全角・半角文字）以内とする。

イ 発表者及び共同研究者

発表者の氏名を筆頭に、共同研究者をこれに続き記載すること。共同研究者は8名までとすること。

ウ 目的

症例を発表する理由と意義について明確に記載すること。

エ 症例

症例の内容を年齢（年代）、性別、事故概要、主訴、現病歴、既往歴、病態の変化などについて記載すること。また、その症例の特徴を示すこと。

オ 考察

症例を経験したことから得られた知見を明確に示すこと。

※上記ウ～オで、1, 000文字（全角・半角文字）以内とする。

注意事項

- ① 題名及び査読・抄録原稿については、個人情報保護の観点から、掲載に適さない固有名詞、日時等は「○○」で表記すること（応募者及び応募者の所属において判断すること）。
- ② 査読・抄録原稿における出典資料等に関しては、必要に応じて出典本（参考文献・引用元）を明記すること（応募者及び応募者の所属において判断すること）。
- ③ 査読・抄録原稿は事務局での校正は一切行わない。よって、採用となった場合は、当初提出した原稿がそのまま抄録集に掲載されるため、誤字、脱字等には、十分配慮すること。

5 選考・結果通知について

全国救急隊員シンポジウム運営委員会委員長により推薦された、医師及び消防関係者で構成される「査読委員会」において選考を行います。

選考結果は、8月中旬までに演題登録に使用したメールアドレスへ通知します。

6 発表者の費用負担について

- (1) 参加費は徴収しません。

(2) 交通費及び宿泊費等は各自負担となりますので、ご了承ください。

募集演題

分類	テーマ
救急需要対策	(1) 救急安心センター事業（#7119）に関する事
	(2) 119番通報時や救急現場での緊急度判定に関する事
	(3) 頻回利用者対策（精神疾患患者対策等）に関する事
	(4) 一般負傷や疾病の予防等に関する事
連携	(5) 関係他機関（医療機関、福祉、民間、行政等）との連携に関する事
	(6) メディカルコントロール協議会との連携（救急活動プロトコルの検討等を含む）に関する事
	(7) ドクターカー・ドクターヘリとの連携に関する事
教育	(8) 指導救命士に関する事
	(9) 通信指令（口頭指導、通信指令員の救急に係る教育等を含む）に関する事
	(10) 救急隊員教育に関する事
活動	(11) 救急活動に関する事（内因性）
	(12) 救急活動に関する事（外因性）
	(13) 救急活動に関する事（小児対応）
	(14) 処置範囲拡大に関する事
	(15) 大規模災害、多数傷病者事故に関する事
	(16) 特異症例に関する事（低体温・熱中症など）
その他	(17) 応急手当普及啓発（eラーニングの活用、講習時間の短縮等を含む）に関する事
	(18) 調査・研究（統計を含む）に関する事
	(19) 救急資器材に関する事
	(20) その他